

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	演劇	種目	ミュージカル
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	ゆうげんがいしゃそうごうげきしゅうだんはいゆうかん		
	制作団体名	有限会社総合劇集団俳優館		
	代表者職・氏名	代表取締役・森釗		団体ウェブサイトURL
				https://hiyoucantk.wixsite.com/hi-you-can
	制作団体所在地	〒	460-0008	最寄駅(バス停)
				名古屋市市営地下鉄伏見駅
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	愛知県名古屋市中区栄1-22-17 2F		
		□ ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	そうごうげきしゅうだんはいゆうかん		
	公演団体名	総合劇集団俳優館		
	代表者職・氏名	劇団代表・森 釗		団体ウェブサイトURL
				https://hiyoucantk.wixsite.com/hi-you-can
	公演団体所在地	〒	460-0008	最寄駅(バス停)
				名古屋市市営地下鉄伏見駅
	公演団体と制作団体が同一である場合はこちらにチェック	愛知県名古屋市中区栄1-22-17 2F		
		昭和61年2月		
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
		代表取締役 森釗 取締役 祖川詩織 取締役 平田美帆 芸術顧問 ふじたあさや		団体構成員 17人(正会員)、客員8人 加入条件等 劇団総会の審議を経て役員会が入団を適当と認めた者。
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	森釗
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	夏目みほ
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		ttn-mr@ss.ij4u.or.jp		0522038721

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1986年2月総合劇集団俳優館として発足。1990年3月法人化、有限会社総合劇集団俳優館。1990年6月、公益社団法人日本劇団協議会に加盟。1997年5月、日本児童青少年演劇劇団協議会（現協同組合）に加盟。</p> <p>2001年3月、東京都優秀児童演劇賞奨励賞受賞（ミュージカル「ムクバクとチチャねこ」）作品賞。</p> <p>2003年度、愛知県文化芸術文化選奨文化賞受賞（森釗、児童劇ミュージカルの脚本と制作）。</p> <p>2011年度、松原英治・若尾正也記念演劇賞受賞（森釗、新劇100年企画連続公演）</p> <p>（主な作品）さんしょう太夫／カレーライス物語／ガラスのうさぎ／ごきげんなすてご／ムクバクとチチャねこ／*雨ニモマケズ／*ねこはしる／どん底／アンデルセンものがたり／新劇100年企画Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ／はだしのゲン／三人姉妹／世界どうぶつ会議／ブルーストッキングの女たち／ヘルン氏のこわいかわくわく／かわからない話／アラビアン・ナイト／賢治のドリームランドにつぼん／群青～雲ながれる果てに～／こぶとりじいさん、手袋を買いに／出雲の阿国／ヘンゼルとグレーテル／夏の夜の夢／*あらしのよるに／森は生きている／コーカサスの白墨の輪／ブンナよ、木からおいてこい／かもめ／修羅マクベス夫人／あらしのよるにNEW VER.／會津わが町流流譚／沖縄・戦世の伝説～石になった少女～／裸王／タルチュフ～もしくは、ぺてん師～／車のいろは空のいろ／ルドルフとイッパイアッテナ／桜の園／冬物語／あとかたの街～名古屋大空襲～</p> <p>*印</p> <p>「雨ニモマケズ」平成15,16年度、「ねこはしる」平成18,19,20,21,22年度…文化庁「本物の舞台芸術体験事業」作品</p> <p>「あらしのよるに」…令和3,4年度「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」、令和4年度 文化庁「文化芸術による子供育成推進事業」作品、令和5,6,7年度 文化庁「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」作品</p>
	学校等における公演実績	<p>40年にわたり、主に小学生・中学生・高校生・特別支援学校を対象とした学校公演を続けており、現在は、8つの巡演作品を備えて全国を巡演しています。</p> <p>2017年初演のミュージカル「あらしのよるに」は、おかげさまで全国の小中学校・特別支援学校・ホール・おやこ劇場などの上演を続け、2025年12月11日に約335箇所500ステージの公演を記録しました。</p> <p>特に最近の5年間では、2021～2022年度には「文化庁 子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」プログラム選択型、学校による提案型にて計35公演。</p> <p>2022～2023年度には「文化芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」にて計30公演、日本劇団協議会主催「アートキャラバン事業」にて27箇所、計30公演実施しました。</p> <p>2024年～2025年度には、児童青少年演劇協会主催のキャラバン事業により、6箇所でのホール公演を実施し、小さいお子さんや大人の方にも好評をいただきました。</p> <p>近年、2023年初演「沖縄・戦世の伝説～石になった少女～」、2024年初演「車のいろは空のいろ」、2025年初演「パパパのうた♪～パパパゲーノとパパパゲーナ～」と毎年、新しい学校巡回公演作品を作り続けています。</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>ミュージカル「ねこはしる」</p> <p>2008年・2009年に「本物の舞台芸術体験事業巡回公演」で、岩手県一関市と北海道にて実施。</p> <p>ミュージカル「あらしのよるに」</p> <p>2021年度「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」プログラム選択型で京都府1校実施、2022年度「文化芸術による子供育成推進事業（巡回公演事業）」で大阪府1校実施、。2023年度名古屋市の小学校にて、難聴の児童にも作品の声を届けるために出演者が学校用意のマイクケーブルを装着して公演を実施、2024年度「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」で岐阜県1校実施しました。</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/sO3ClDxMEcs?si=ETgeDIJmD4aIiT80
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	<div>ID:</div> <div>PW:</div>

別添	なし
----	----

【公演団体名 総合劇集団俳優館 】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○		
		小学生(高学年)	○	中学生	○		
	企画名	ミュージカル「あらしのよるに」					
	企画のねらい	誰もが生の舞台芸術に触れられる学校現場で、出演者8人の比較的大規模な作品を上演することに意義を感じている。本作は体育館フロアに舞台を設営し、鑑賞児童の目の前で俳優が演技をする。歌やダンスが存分に組み込まれている生のミュージカルの迫力、8人の俳優が演じ踊り歌う姿をぜひ体験してほしい。 また一部シーンに共演プログラムを組み込み、一部の児童には舞台で演じること、プロと共にステージに立つことの面白さと魅力を体験してもらう。 鑑賞者全員にとって特別な体験を提供することが、本企画のねらいである。					
	演目概要・演目選択理由	「あらしのよるに」の物語が持つ、異なる者同士が違いを乗り越え共に生きるという「共生の心」を、子どもたちに届けたい。この共生の心は、社会が抱える差別の問題、差別意識から生まれる戦争の問題、そして子どもたちの世界で巻き起こっているいじめの問題等を考える上で必要な、平和な社会を作る根底にある心だと考える。今の子どもたちには、共生の心を忘れずに差別や戦争のない社会を生き、そのような社会の作り手になってほしい。 また、子どもたちがより近くに感じているいじめの問題について、そのいじめの底にある異なる者を敵視したり排除しようとするゆがみの正体を知り、勇気をもって友情を育み、融和と共生の心、多様性の認識が大切であることを考えて欲しいと思う。					
	児童・生徒の参加または体験の形態	児童・生徒の共演：ミュージカルの体験 劇中エンディングテーマ「♪気の合う友だち」の音源と楽譜を、事前に学校にお送りし、本番当日、劇中で鑑賞児童・生徒全員に客席から合唱してもらいます。また、共演する一部の児童・生徒には、終盤の「オオカミのガブがヤギのメイと友だちであった記憶を取り戻すシーン」でお花の役として登場してもらい、そのままエンディングテーマ「♪気の合う友だち」を歌い踊ってもらいます。お花役・「♪気の合う友だち」の歌と振付は、事前ワークショップにて詳しくレクチャーしますが、本番当日も共演児童・生徒のみ公演前にリハーサルを行います。					
	児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	共演：15名程度			
			鑑賞人数目安	300名			
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	ミュージカル「あらしのよるに」 原作：きむらゆういち「あらしのよるに」講談社刊 脚本：三樹健 作曲：ノノヤママナコ 演出・振付：ほりみか					
		公演時間	70	分			
出演者	出演者と主な役名(クロスはオオカミとヤギを演ずる。) 稲吉直人 在籍36年・・・ガブ(オオカミ) 今枝 蛭 経験11年・・・メイ(ヤギ) 今村しんすけ 在籍8年・・・タブ(ヤギ)、クロス 加藤謙太郎 経験5年・・・ギロ(オオカミ)、クロス 岩井利和 経験7年・・・サル、クロス 夏目みほ 在籍8年・・・おばさんヤギ、クロス 藤本幸音 在籍3年・・・リス、ヤギのリーダー、クロス 味潮浅利 経験7年・・・バリー、クロス						
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	三樹健(脚本)・・・主に児童劇の脚本を手がける。児童劇・ミュージカル作品の脚本執筆に対して、2003年度愛知県文化芸術文化選奨文化賞受賞。(これまでの脚本・脚色執筆作品)ミュージカル「ふしぎの国のアリス」、ミュージカル「ムクバクとチチャねこ」、一人語り「はだしのゲン」、ミュージカル「あらしのよるに」、「冬物語」 ほりみか(演出、振付)・・・これまで数多くの俳優館作品(ミュージカル、音楽劇、朗読劇)の演出・振付を手がける。小中学生がメンバーのミュージカル劇団の講師や演出・振付、大学の授業の外部講師も行う。特に小中学生を対象とした演技ワークショップに定評がある。 稲吉直人(俳優)・・・俳優館劇団員。これまで俳優館の作品に数多く出演。作品のメインキャストをいくつも担っている。(これまでの出演作品)1989年～1998年ミュージカル「カレーライス物語」牛吉(牛肉弟)役、冬越四寸(ニンジン)の夫)役／2001年～2008年「ふしぎの国のアリス」イモムシ、ハートの女王役／2008年～2011年「雨ニモマケズ！」賢治役／2017年～現在ミュージカル「あらしのよるに」ガブ(オオカミ)役／2024年「桜の園」ピーシク役／2024年「ルドルフとイッパイアッテナ」ブッチー役／2025年「あとかたの街～名古屋大空襲～」主人公の父 役						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者：	8	名	運搬	積載量：	2	t
	スタッフ：	5	名		車 長：	6.5	m
	合 計：	13	名		台 数：	1	台

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度	
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30-13:00 (12:30-12:50共演児童リハーサル)		13:00-14:00	0分	14:30-16:30	17時00分
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月		8月		9月
	12日						12日
	10月		11月		12月		1月
	12日		12日		12日		12日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計	
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) ※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載し	<div>・舞台（横幅15m、奥行き12m）はフロアに設置します。</div> <div>・体育館付属のカーテン・暗幕を使用しできる限り暗くします。足りなければ、暗幕を持ち込みます。</div> <div>・公演中はステージの幕または緞帳をしめさせていただきます。</div> <div>・運搬車両：2tトラックロング（全長650cm、横幅200cm、高さ310cm）体育館搬入口横付け希望です。</div>						
							
	出演者全員で歌うシーン			コロスとして常に舞台上に			
							
	ガブとメイの友情が芽生える			共演シーン			
			舞台設営イメージ				

著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否			該当あり	該当コンテンツ名	原作著作権、脚本使用、音楽著作権
	該当事項がある場合	権利者名	きむらゆういち事務所、三樹健、ノノヤマmanaコ		許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

総合劇集団俳優館

】

ワークショップのねらい

- 1.「演じる」「歌う」「踊る」ミュージカル体験を通して、表現することの楽しさを体感してほしい。コロナ禍を経て、学年によっては友だちと顔を見ながら会話したり、何気なくふれあったりする経験が少ない児童・生徒も多くいます。このワークショップを通して、自身の感情や心の動きを認識し、それを思ったように表現することの楽しさを感じてほしいと考える。
2. 他者の思い切った表現や独創性のある表現について、認め、受け入れる姿勢の素晴らしさも、体感してほしいと考える。
- 3.さらに、本公演でテーマとしている「共生」の心を育むべく、ミュージカル「あらしのよるに」の作品の持つテーマ性を伝える。ミュージカルの楽しみ方、物語、本作独自の舞台表現(俳優ひとりひとりが3～4役を兼ねていることの面白さ、俳優の身体表現によって様々な自然物を表現していること)について伝え、観劇の更なる期待感を高める。

児童・生徒の参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

60名(1学年程度)、当該校の希望に対応します。

ワークショップの内容

ワークショップ実施形態及び内容

- ワークショップ講師
ミュージカル「あらしのよるに」演出家1名、出演者3名、計4名を基本メンバーとする。
- 1.講演：
ミュージカルとは何か。ミュージカルならではの見所、ミュージカル「あらしのよるに」はどのように生まれたかについての話をします。ミュージカル「あらしのよるに」について、作品の内容とミュージカルの魅力を周知し公演に関心と興味を持ってもらいます。
 - 2.体を動かしてみよう：
ゲーム感覚で体をうごかし体と心の緊張をほぐします。空間認知のゲームでは、大人数が動いている時に自分もその中のひとりとして動く場合、自分と他者の動きそれぞれをどのように認知し、どのように自分の動きに生かして立ち振る舞うか？考えながら取り組んでもらいます。空間認知のゲームでは、大人数が動く中で周囲を意識しながら、自分もその一員として、ゲームの目的に応じて自由に工夫して動きます。その際、自分と周囲の動きをどう捉え、それを立ち振る舞いにどう生かすかを考えながら取り組んでもらいます。「周りの状況を認識したうえで自分のアクションを起こす」必要性を知ってもらいます。
また、言葉を使わず身体だけに身近なものを表現するゲームでは、他者の真似をせず、各々が勇気を出して思い思いの表現をすることを目指します。
 - 3.台詞を言ってみよう：
二人一組になって、一言ずつ簡単なセリフを割り当てて会話をします。様々な言い方を試しながら、相手はどんな印象を受け取るか？実体験してもらいます。簡単な台詞を練習する内に「自分ってこんな声が出るんだ」「こうやって言うと、相手にこんな印象を与えるんだ」という発見が生まれます。
日々のコミュニケーションにも生かすことができるゲームです。
 - 4.歌ってみよう、踊ってみよう：
発声練習の後、ミュージカル「あらしのよるに」の、劇中エンディングテーマ「♪気の合う友だち」を一緒に歌います。ミュージカルにおいて、歌やダンスは登場人物の心が動いたシーンに登場します。今回取り扱う「♪気の合う友だち」のシーンは、「あらしのよるに」の登場人物の心がどのように動くシーンなのかをみんなで想像しながら歌うことを試みます。作品理解へも深く結びつく時間となります。
また「♪気の合う友だち」を、ミュージカル「あらしのよるに」の演出・振付家による振付で踊ってもらいます。歌いだしから後奏まで丸々一曲踊れるようになります。
ミュージカルの表現方法である「歌」「ダンス」を体験し、よりミュージカルを身近なものに感じてもらいます。「歌やダンスは難しい」という固定概念を払拭します。
 - 5.共演シーンの練習：
公演当日、児童が共演する場面を出演者と共に練習します。共演児童には、作品終盤の「オオカミのガブがヤギのメイと友だちであった記憶を取り戻すシーン」でお花の役として登場してもらいます。ミュージカル「あらしのよるに」では、動物以外にも、蝶・木枝・霧・雪など自然物の役もたくさん登場します。自然物も含めた様々な役を、俳優が演じることで作品がづくりあげられているということも、合わせて説明します。
共演シーンの練習は、本公演当日にも行います。

その他ワークショップに関する特記事項等

- ワークショップ開催前に、上演台本と、歌やダンスに使う「♪気の合う友だち」の音源と楽譜データを共有します。
ワークショップ当日にレクチャーをし、本公演当日までに共演シーンで共演児童に使ってもらう「お花」を、共演児童自身に作ってもらいます。ただし、「お花」の用意が難しい場合は、事前に学校と相談の上、こちらでも対応させていただきます。
ワークショップ当日は、参加人数60人の場合体育館を使用したいと考えております。ただし参加人数が少ない場合は、この限りではありません。CDデッキ、マイク2本、ホワイトボードの用意をお願いします。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名総合劇集団俳優館】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
会場の設置階の制限	条件なし		主幹引き込み電源容量		20 A以上
舞台設置面積	間口	15 m	奥行	12 m	
	高さ	3 m			
舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応		不可
搬入間口の広さ	幅	2 m	高さ	1.5 m	
遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否		あれば使用する可能性がある
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		要
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		10 m以内
搬入車両の種類	中型トラック		台数	1 台	
搬入車両の大きさ	車幅	2 m	車長	6.5 m	
備考					

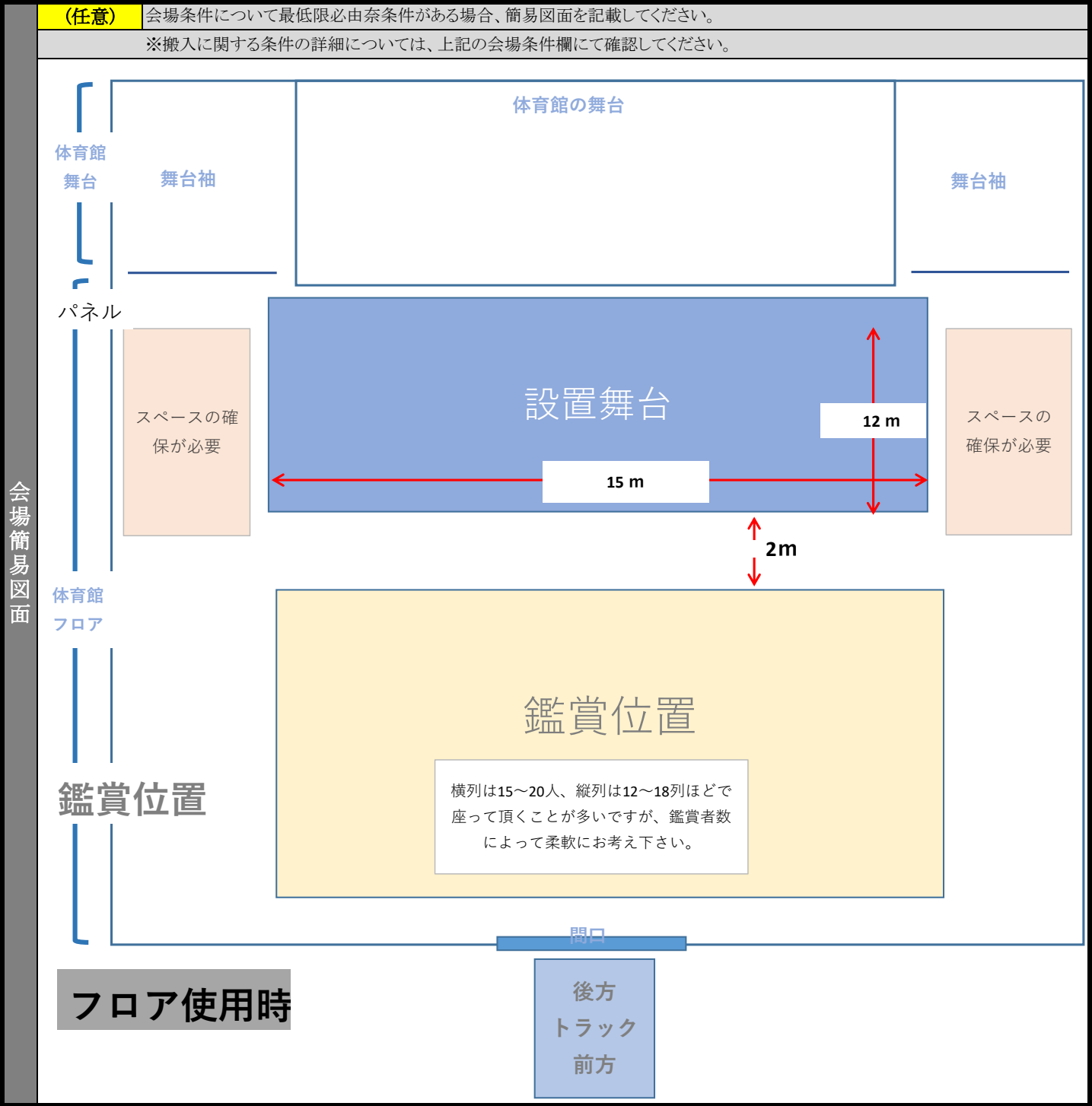
※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否		
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	打合せ(ワークショップ)の際に搬入口や駐車場所、体育館を拝見させていただきます。	

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	20分～30分	授業時間など	事前に楽譜、音源をお渡ししますので、ワークショップの前まで歌の練習をしていただきたいです。	難しければ、何度か校内放送などで音源を流す等、聞いておいていただくだけでも問題ありません。
	ワークショップ					
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	20分～30分	各自	共演シーンで使用する「お花」を、共演児童自身に作ってもらいます。	難しければ、ご相談ください。
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	20分	開演時間の30分前	共演シーンのリハーサル	

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		



別添	なし
----	----

【公演団体名 総合劇集団俳優館 】

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫	【本事業を通じて実現したいこと】 子どもたちに作品を見てもらうだけでなく、物語への理解・興味を駆り立てられるようなプログラムを用意し、子どもたちがより文化芸術に親しみを感じられる濃密な時間を作りだします。 ミュージカル「あらしのよるに」は俳優館が自信をもってお届けしている作品です。 学校巡回公演の他、令和4～6年度には劇団協議会・俳優館主催のアートキャラバン事業等において、全国各地のホール合計40箇所以上で、一般公演を行いました。子どもから大人まで幅広い年代層に大変ご好評をいただいております。 学校巡回公演においても、小学校中学校の児童・生徒、先生方から、沢山のお喜びの声をいただいております。 俳優館は、愛知県名古屋市を拠点に、主に東海三県で公演を行なっておりますが、その他の地域の子どもたちにも、ミュージカル「あらしのよるに」をもっと届けられたらと常々考えています。 また、大きな劇場のない地域の児童生徒は、演劇を観る機会があっても「ミュージカル」を観る機会はなかなか得られない印象があります。この機会にぜひ「ミュージカル」を体験し、喜び・悲しみ・怒りなどの感情が、歌やダンスになる表現を目の当たりにして欲しいと思います。
	【上記の実現に向けて、実施の工夫】 一番の目的を「子どもたちが文化芸術をより親しむことのできる体験の提供」とし、その趣旨を出演者・スタッフに共有したうえで事業に取り組みます。 できる限り同一地域での公演は連続するように日程をくみ、時間的・経済的効率化を目指します。
本事業への応募理由等	【学校との連絡調整について】 劇団と学校とのやり取りは細やかに行います。特に、ワークショップ前の事前の打ち合わせでは、俳優館独自の公演概要書を作成し、メールや書面データの共有をします。やりとりの内容を後から見直せるようにすることで、認識の違いなどを減らします。 ワークショップ当日の現地対面での打ち合わせでは、30分から1時間ほどを使い、学校の要望も取り入れながら、本番当日の流れなどを確認していきます。
	【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】 本事業に参加するすべての児童生徒が安心して取り組めるよう、担任の先生方と事前に打合せを行い、対象児童の状況に応じた無理のない参加方法を検討します。できることを尊重し、成功体験や達成感を得られるよう役割や活動内容を柔軟に調整します。 また、可能な範囲で先生方にも体験やワークショップにご協力いただくことで、子どもたちが安心感を持って取り組めるようにします。先生方の観察やご意見を共有していただくことで、本公演に向けた工夫や改善にもつながっていきます。全員が安心して表現に挑戦し、自信や喜びを感じられる体験となるよう努めます。
	【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】 本公演は、異なる者同士が違いを乗り越え共に生きるという「共生の心」を描いています。子どもたちが身近に感じているいじめの問題についても、その背景にある「異なる者を敵視したり排除しようとするゆがみ」に目を向け、勇気をもって友情を育み、融和と共生の心、多様性を認め合う姿勢の大切さを考えてほしいと願っています。 さらに、この舞台で得た気づきや学びを、今後の学校生活や日々の人との関わりの中で生かし、互いを尊重し合う行動につなげてもらえることを目指します。
	事業を適切かつ円滑に実施するための工夫